

“はあと”をつなぐ情報誌



月刊 はあとふるあたご

第42号
【発行】
2009年2月

【発行元】株式会社はあとふるあたご 〒951-8051 新潟県新潟市中央区新島町通三ノ町2284番地
電話 025(228)5000 FAX025(228)4000 【発行者】木村 淳



餅つきの様子
(グループホーム新津)

目次

食彩委員会だより・・・・・・・・・・	2	木陰亭昔語り 第1回・・・・・・・・・・	8
事業所だより・・・・・・・・・・	3	伊東先生のコラム 第41回・・・・	11
自分で食べるを応援します！第8回	5	職員紹介、お手軽レシピ・・・・	12

わたしたち はあとふるあたご は、“人”を一番大切にします。

～食彩委員会だより～

福島へ行ってきましたぁ～

昨年11月30日に食彩委員会のメンバー3名と看護師1名の計4名で福島へ行き「高齢者ソフト食研究会」の「尊厳ある食の研究会 in 福島」に参加してきました。

ソフト食??聞いた事のない方が多いと思います。一言ではなかなかうまく表せないのですが、ソフト食とは… しっかりとした形がありながらも 口にとりこみやすく 咀嚼しやすく まとまりやすく 移送しやすく 飲み込みやすいという食事です。皆さんも目をつぶって想像してみてください。やわらかい1切れのりんご、フォークでさし、口に入れ舌でつぶせてスーッと飲み込めるこんな風に食べる事ができるのです。もちろん見た目は変わりないのです。私達はあとふるあたごでは、このような食事が提供できるよう今後取り組む方向で考えております。

また、今回の研修では食の大切さを学んできました。世の中は食育の時代真っ最中です。私達も食の大切さを再確認してこれからも皆様に少しでも良い食事を提供していく為に日々努力していこうと思えました。

第4回「食の第三者評価」を実施しました。

昨年(平成20年)12月15日～19日に、第4回「食の第三者評価」を実施しました。

はあとふるあたごデイサービスセンターに関わって下さっているお客様に評価して頂きました。

～頂戴したご意見を一部ご紹介致します。～

- ・主菜が選択でき楽しみがあり、良いと思う。
- ・おばあちゃんを預けて本当によかったです。
- ・昼食を頂いたりデイサービスの中での様子など拝見させて頂き、とても安心致しました。
- ・これからも季節のものを取り入れて、おいしい楽しい食事時間を提供してほしい。
- ・食事の前・後のあいさつがない

忌憚のない評価を頂き職員一同嬉しく思います。

今後も、今回の評価を活かし今後も、よりよい食事を提供できるよう努力して参ります。

お忙しい時期に、ご協力頂きました皆様、ありがとうございました。

今後ともよろしく願いいたします。

食彩委員長 山田 智美

デイサービスセンター坂井東

園芸ボランティアさんと一緒に花絵制作を行いました。

作り方は簡単、薄い発砲スチロールの上に両面テープを貼り、生花を並べてできあがり

シンプルながら出来上がると、とてもきれいでゴージャスな飾り物に変身します。

初めはこのような手作業は苦手で「参加しなくてもいいよ」と言われていたお客様も、机の上に並べられた可憐な生花を見るとあっというまに惹きつけられ夢中で作業をされていました。

「いいにおいね」、「きれいね」などと言いながら台紙の上にビオラ、バラ、牡丹などの草花を飾っていました。終わったあとには残ったバラや牡丹を「家族へのお土産に」と皆様嬉しそうにお持ち帰りになりました。



ボランティアさんや職員もお手伝いして完成した花絵の作品。

その出来栄えに、皆様は大満足の様子でした。

ボランティアさんとの交流、みんなで一緒に作る楽しさ、生花を使っての作品作りとそれぞれいろんな刺激があり、お客様の目がとても輝いていました。

デイサービスセンター坂井東 五十嵐 陽子
電話 025 - 268 - 8880 FAX 025 - 268 - 8887

グループホーム三条

「盆と正月が」じゃなくて



(私にとって) 激動の平成20年を締めくくる最後の
大仕事は夕食でした。

昨年度のお料理屋さんの仕出し弁当はすごく豪華
で、大晦日と元旦が一緒に来たような感じでしたが、
お客さまのお腹には納まりきらず、「もったいないね
〜。」今回は手作りコンセプトで「豪華ちらし寿司」
にしてみました。

薄焼き卵とえびとお刺身と……。とても好評でした。

そして、迎える元日、お客さまで1月1日生まれの方もいらっしゃり、お誕生会も行いました
ので、パーティー三昧でした。

今年もいろいろあるかもしれませんが、皆さんと一緒に良い年にしていきたいと思います。

グループホーム三条 難波 淳
電話 0256 - 36 - 5555 FAX 0256 - 36 - 5556

グループホーム新津



12月に入って我がホームはXマスの雰囲気に変!!
6日にクラリネットと健康支援体操のコラボ、7日には
ミニモニー達によるXマスソング、そして12日には当
ホームのXマス会を満喫しました。



そして、さらにその雰囲気を盛り上げて頂いた事は、

・中央青果様よりりんごが1箱

・新津土地改良区様より

田園アートで収穫したお米30K

・そして民間ボランティア、プライムクラブ様から、

ホームのお客様お一人おひとりに靴下やお絞り、雑巾などたくさんプレゼントがありました。

ホームみ～んなで幸せを分かち合いました。

ありがとう！ありがとう！感謝でいっぱいです。

グループホーム新津

渡邊 やよひ

電話 0250-21-2888 FAX 0250-21-2889

居宅介護支援課

「今日も元気です!!」



今、介護の現場では厳しい人材不足であり、毎日の介護業務を行うことで精一杯という状況が続いています。人材不足は深刻な問題であり、すぐに解決することは難しいのが現状です。そんな中、毎日元気に「おはようございます!」の挨拶で始まり、明るい笑顔で介護を行っている職員が沢山います。

笑顔は誰もが持っている素晴らしい宝であり、周囲の人を幸せにします。私も介護に携わる一人の専門職として、自分自身の気持ちに笑いを忘れずに、日々現場で頑張る職員と共に明るい「あったか介護」を目指して、頑張っていきたいと思えます。

そして、地域に暮らす皆様からの協力を得ながら、高齢化社会に向けてより一層の努力とより良い介護の実現に取り組んで参りたいと思えます。どうぞ、宜しくお願い致します。



居宅介護支援センター河渡本町

南 洋子

電話 025-250-3002 FAX 025-250-3011

自分で食べるを応援します！第8回

「湯のみのお話」

株式会社コラボ 代表取締役社長
秋元 幸平



お年寄りがお茶を飲む時に危険なことが二つあります。一つは湯のみを持つ時にお湯をこぼしてしまうこと。もう一つは飲んでいる時にむせることです。その為プラスチックの湯のみでぬるいお茶を飲むこととなります。

コラボの「有田焼ほのぼの湯のみ」は一見普通の湯のみですが内部が二重構造になっています。普通は熱くない口元や広大な部分を探して持っていますが、これは難しい動作です。

この湯のみはお湯の温度が表面に伝わらないので手のひらでしっかり持てますから、あわてて放してこぼす危険がありません。また、内部が円すい状になって角度がついているので大きく首を反らさなくても飲みほすことができます。むせて咳き込むのは最後に大きく湯のみを傾ける姿勢をとるからです。この湯のみはその姿勢になる前に飲み終わるのです。

日本人は陶器の湯のみで熱いお茶をゆっくり飲むことが楽しみですからね。

福祉用具課

ご要望が多かった介護シューズ版長靴『あゆみレイン』



近年、雪が少なくなったと言ってもやはり雪国新潟。以前から多くのお客様に『介護用の長靴はないのか？』とお問い合わせを頂いておりました。

この『あゆみレイン』は中央の切り替えデザインによって履きやすく、また2本のベルトがある為、水が入らず調整も楽にでき下肢装具にも対応できます。

雪の日だけではなく雨の日の外出に。また、畑仕事やガーデニングの作業など色々な用途に活躍できる1足です。

サンプルもご用意してありますので、お気軽にお問い合わせ下さい。



福祉用具課 阿部 友紀

福祉用具レンタル・販売/住宅改修のお問合せは...

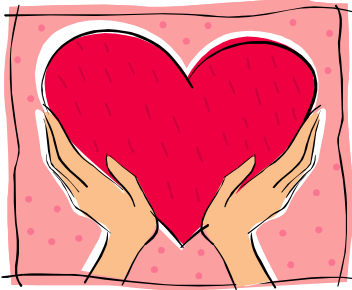
福祉用具センター柳都大橋 025 - 228 - 5002
福祉用具センター新 発 田 0254 - 23 - 1173

松鶴荘

平成21年を迎え、新たな年がスタートしましたが皆様いかがお過ごしでしょうか？

松鶴荘ではお客様、当社スタッフ共に、にぎやかに楽しくお仕事させて頂いております。

ある日の出来事です・・・あるお客様が理髪をされた後に「髪の毛を切って若返ったんじゃないですか？」とお声を掛けたら・・・「いやだぁ！あんただだよ、こんなシワくちやババにそんな事言ってくれるのは。」と顔を赤らめて照れておられました。



施設での生活は、私たちの生活と違い何かと不自由に感じるがありますが、私たちスタッフに労いの言葉を掛けて下さったり、些細な声掛けでも満面の笑みを見せてくださるお客様には他では得ることの出来ないパワーを頂いております。

今年も、こんなに素敵なお客様が笑顔を失われないようなサービスを提供できたらいいなと思います。

松鶴荘 北村 絵理

デイサービスセンター河渡本町

テーマは「和」

デイサービスセンター河渡本町は昨年11月に設立5周年を迎え、デイサービスの内装と食器などを全て新しくしました。河渡本町の内装や、揃えた食器のテーマは「和」

そこで新しい食器でお出ししている料理と、今年最初の和菓子の日のおやつを紹介します



いかがでしょうか？お客様からは、大好評！！

河渡本町では、和菓子の日を設け、お客様に和の心を楽しんで頂いております。

和菓子の日是非、河渡本町へお越し下さい

デイサービスセンター河渡本町 野口 晴代
電話 025-250-3001 FAX 025-250-3010

デイサービスセンター城北町



平成20年も終わりに差し掛かった頃、デイサービスセンター城北町では、毎年恒例のイベントが行われていました。それは、お客様との忘年会です。

普段の昼食も、おいしいと好評ですが、当日はスペシャルメニュー！揚げたてのえびフライにクラムチャウダー、そしてピラフと、舌もお腹も大満足！！

その後は、お待ちかねの忘年会です。色鮮やかなドレ

スに身をまとった職員が、歌いながら、踊りながら登場します。わたしたち職員、最初はちょっぴり恥ずかしいのですが、大喝采で迎えられ、すっかりスター気分 お客様と握手をしたり、お花を受け取ったり・・・お客様も盛り上げようと必死になってくださいました。(苦笑)

今回も寒さ吹き飛ばす熱気あるステージに、喜んでいただけただけなことと思います。普段のデイサービスセンター城

北町も、お客様の温かい、そして寛大なお心で成り立っているといっても過言ではありません。

今年の5月には、5周年を迎えます。さらに、元気！笑顔！温かい！デイサービスセンター城北町でお客様をお迎えしたいと思います。 **デイサービスセンター城北町** **小泉 美咲**

電話 0254-21-3330 FAX 0254-21-3335



デイサービスセンター水原・ショートステイ水原



12月13日、本番のクリスマスに先駆けて、デイサービスセンター・ショートステイ水原では、クリスマスコンサートが開かれました。おなじみ、クラリネット奏者の渡辺郁男、健康支援トレーナーの皆川京子のコラボレーションです。

当日は、デイサービス・ショートステイのお客様が朝からとても楽しみにされていました。

クラリネットによるクリスマスソングの演奏や、職員によるダンスもあり、皆様たくさん唄って、笑って下さいました。中でも目玉は、職員とクラリネット渡辺によるリコーダー演奏です。この日のために遅くまで練習しました！演奏前は緊張していましたが、演奏が始まってしまうと、練習の成果を存分に発揮することができました。お客様からの温かい拍手を頂き、クリスマスコンサートは大成功に終えることができました。

デイサービスセンター水原・ショートステイ水原 **堀越 恵子**

電話0250-62-8886(デイ)0250-62-8888(ショート)

FAX0250-62-8887(デイ・ショート共通)

【木陰亭昔語り】第1回

「新島町通」の由来

総務部 経理財務課 斉藤正明

子供の頃、近所に物知りのご老人が住んでいました。そのお宅に遊びに行くと、ご老人は私をつかまえて、よく昔の新潟の話をしてくださいました。そのとき聞いた昔語りを、これから1年間連載していきたいと思います。ご老人のことを、皆が「木陰亭」さん（俳号でしょうか？）と呼んでいたので、この文章の題名を「木陰亭昔語り」としました。第1回は、「はあとふるあたご」の本社の住所、「新島町通」の由来についてです。

それでは、木陰亭さんに語ってもらいましょう。

「江戸時代の中期以降、信濃川の西岸に大きな洲が付くようになった。中でも大きかったのは、江戸後期に付いた秣鼠（まぐさじま） 榛島（はんのきじま）と呼ばれた二つの島じゃ。やがて二つの島はくっついて一つになった。明治になると、梨畑になっていた島が住宅地として開発され、初めて人が住むようになった。



あの大通り（写真：秣川岸通り）が新潟島とこの島を隔てる川でな、他門川と呼ばれていた。その川が昭和38年に埋め立てられ、ようやくこの島は新潟島と一つになったんじゃ。

あのあたりの住所が「新島町通」となってるわけが判ったじゃろ。まさしくそこが、新しい島に出来た町だったからなんじゃよ。」

デイサービスセンター松浜

クリスマスケーキ作り、餅つきを行いました！

12月19日にクリスマスケーキ作りを行いました。3つのグループにスポンジケーキを2枚配り、全体にクリームをたっぷり塗っていただき下地作りを行いました。それをグループのお客様の人数分に切り分け、各自で苺やキウイなどの果物やクリームでデコレーションして美味しく出来上がりました。その後、好きな飲み物と共に皆様満足そうな笑顔でクリスマスケーキを賞味することができました。



さらに、12月29日には餅つきを行いました。当日は天候も良かったので、センターの外に石臼を設置して臼と杵をお湯で温めていると、蒸かしたもち米が運ばれて来て餅つきが始まりました。男子職員二人で米が冷めない内にと懸命に杵で押しつぶしている内に、段々と餅らしくなってきました。そこで、餅つき経験がごありの女性のお客様から御協力いただき、本格的な餅つきが始まりました。威勢のよい周りのお客様の「よいしょ!、よいしょ!」の掛け声と「ベッタン、ベッタン」の音が鳴り響き、やがて餅がつきあがりました。

そして、つきあがった餅でお客様に正月用の大きなお供え餅を作っていたいただき、良い正月を迎える準備を整えることができました。

デイサービスセンター松浜

高橋 正明

電話 025 - 255 - 7701 FAX 025 - 255 - 7705

デイサービスセンターさかえ

デイサービスセンターさかえでは、1月7日にお正月メニューとして、昼食に七草粥を召し上がっていただきました。

土鍋でお粥を作ったその中に『大根』『かぶ』『小松菜』『セリ』『水菜』『春菊』『なずな』の7種を刻んで入れ、更に色合いを出す為、溶き卵を入れ“さかえオリジナル”の七草粥をお出ししました。



七草粥の云われは、薬草で厄病を追い払い、無病息災と招福を祈願する日だそうです。お正月のごちそうで疲れた胃を休め、野菜が乏しい冬場に不足しがちな栄養素を補うという効能も併せ持っているそうです。今年1年間のお客様の健康と幸せを祈り、美味しくいただきました。

ご自宅では作る機会も減り、「ここで食べれるとは思わなかったて〜」「バカ美味しいて」と、とても喜ばれました。こういった昔ながらの風習を大事にしたいものですね。小正月には、あずき粥や繭玉作り...と、今年のさかえも新年から盛りだくさんです。 **デイサービスセンターさかえ** **石月 綾子**

電話 0256 - 45 - 7735 FAX 0256 - 45 - 7739

デイサービスセンター横越



昨年の12月24日・25日に『クリスマス会』行事を行った様子を紹介します。

クリスマスといっても、「ケーキを食べるくらい...」「小さい子がないから...」というお客様。そんな声が多かったのですが、クリスマスを通して見るもの・聴くもの（ツリーや音楽）、食べるもの（昼食のメニューやおやつ）などで雰囲気を感じていただき、楽しい気持ちで過ごしてほし

いと、色々なゲームにも参加していただきました。【クリスマスマスコットの輪送り】【スティックゲーム】【お手玉投げ】そして、何ととっても笑いの多かった【仮装ゲーム】！紙に書いてある格好になってもらうゲームで、サンタやレゲエの格好、犬やウサギ、カラフル髪、時代劇のかつらなどをかぶってもらったり...皆さん笑いながらもしっかりその格好になってくださり、見てる方々も笑いが絶えず、本当に楽しいクリスマスでした！ **デイサービスセンター横越** **大久保 友恵**



電話 025 - 383 - 2235 FAX 025 - 383 - 2236

デイサービスセンター柳都大橋

あっ！という間のお正月でしたが皆さんはどんなお正月を過ごされましたか？カルタを昔やったよ！なんて方もおられると思いますが柳都大橋では年末のレクリエーションの時間にお客様と一緒に日常の身近な題材にしたいはカルタを作ってみました。ことわざと絵は別々のお客様に考えて頂き、どちらも一生懸命考えた力作になりました。



ことわざの中には辛口の文章もあり、たとえば、「い」では「いい男、見つかるといいね一人者」独身の職員に向けてありがた～い言葉もありました。もちろん早速皆さんでカルタ大会をやりましたが、自分達で作ったということで大満足！でした。

デイサービスセンター柳都大橋

松浦 浩子

電話 025 - 228 - 5010 FAX 025 - 228 - 3335

グループホーム五泉



明けましておめでとうございます。

御陰様で、今年も無事新年を迎えることが出来ました。グループホーム五泉では、初詣としてホーム近くにある“八幡宮神社”にお客様と一緒に参拝しに行きました。本来なら元旦が良かったのですが、人の多さに『スゴイ人数ですね。今日は、この駐車場から一緒に拝みましょうか。』と、一緒に駐車場から参拝しました。しかし、やはりお賽銭を入れ、鈴を鳴らし、今年の願いを祈ってこそ初詣だと思い、一週間ほどズレてしまいましたが、お客様と一緒に再度神社に向いました。神社には誰もいなく、ゆっくりと参拝することが出来ました。おみくじを引き、『今年の恋愛運良いそうですよ。』と冗談を交えて談笑しながらホームに戻ってきました。

今年も、お客様全員が健康で、笑顔のあるホームであることを願っています。今年も、職員一同、何卒宜しく願います。

グループホーム五泉

中川 禎久

電話 0250 - 41 - 1610 FAX 0250 - 41 - 1611

伊東先生のコラム第41回

「統合失調症は
本来の人間性の
回復なのかもしれない。」



丸山診療所所長 伊東浩志

人間は成長過程において、幼児期に夢とも幻想とも幻覚ともつかない混沌の心の状態を経てきている。言葉を覚えたての子供が幻想的な事を言ったり、空想と現実の統合をしなかったりするののもこのためである。原初的人类は同様に統合の無い世界で神話を形成したり、動物・自然信仰を作り上げてきたりしている。すなわち無理やり幻想と現実を切り分けることが無い。二元論的思考が本当の人間性とは限らない。現実を真の現実とするのではなく、心が作り上げた世界も現実とする事も新たな視点を形成する。統合失調症の方々はお付き合いすると非常に魅力的な人が多い。幻想的なことを言ったりするので拒絶されがちであるが、単に人間性回帰の可能性もある。現実と心が作り上げた現実を統合してひとつの新たな現実としているのかもしれない。芸術・科学の世界もひとつの統合性排除の世界である。芸術家はあえて現状の姿を視点を変えてみている。印象派が対象の輪郭を失わせたのも、キュビズムが多視点的立体構造を表現したりするのも統合性排除の具体例である。新たな心が作り上げた現実「心象」を具現化している。相対論のインシュタインも理論は映像として脳裏をかすめていく。私はそれを翻訳するだけ。とっている。科学も統合性排除から生まれている。全て理論を越えて夢想の中から生まれてきている。新しい概念・芸術・社会構造全てが統合の無い世界の具現化なのかもしれない。貨幣を中心とする経済も限界を迎えている。新たな視点を求めるならば、それは夢想という混沌から生まれるしかない。

統合失調症の人の意見は非常に突飛のように思えるが、とても斬新である。芸術・科学・社会・・・変化の時。

職員紹介 第28回



デイサービスセンター河渡本町 センター長代理 米内山 寛規

デイサービスセンター河渡本町でセンター長代理兼生活相談員をしています、青森県出身の米内山 寛規です。大学入学を機に新潟に出てきまして、卒業後「はあとふるあたご」に入社致しました。気づけばあっという間に入社して約4年が経とうとしています。

米内山（よないやま）という聞き慣れない名前に、お客様も初めは戸惑われていたようですが、徐々に名前を覚えて頂き「米内山さん」と呼んで下さったり、中には名前が面倒くさいということで「青森さん」「青森の兄ちゃん」と呼んで下さる方も。

お客様にとってはお孫さん位の年齢になるのでしょうか？一人暮らしということもあり、食事の心配やお嫁さんの心配をして頂く毎日です。人生の大先輩にいろいろと相談にのって頂いています。

まだまだ未熟者ではありますが、お客様と共に楽しい時間が過ごせるよう努力していきたいと思えます。

簡単おいしい お手軽レシピ

酒蒸しまん

1年のなかで最も寒くなる この季節にピッタリの
ふんわりホクホクおやつはいかがですか？
ホットケーキミックスを使った混ぜるだけの蒸し饅頭です。
ほのかに酒かすの香りのする懐かしいおやつです。



<材料> 4人前

甘酒 190g

ホットケーキミックス 200g

あんこ(こしあんでもつぶあんでも)

<作り方>

1、ボールにホットケーキミックスと甘酒を入れてよく混ぜる。

2、型に1の生地 あんこ 1の生地の順に入れる。

3、蒸し器で約10分蒸す。

デイサービスセンター松浜

佐藤 愛

～ご意見・ご感想をお寄せ下さい。～

<連絡先> はあとふるあたご企画室 新潟市中央区新島町通三ノ町 2284 番地 電話 025-228-5000 FAX025-228-4000
<編集委員> 南洋子、中山卓、荒木幸子、富樫亜希子、岡田健、古野間信介